

ClassNK PSC Bulletin

Date:	6 November 2019
No:	NK-PSC-19
Attachment	No / Yes / page(s)

Title:

機関区域に設ける燃料油タンク測深管上端の小口径自動閉鎖制御コック

Typical deficiency (outline of comment) by PSC:

機関室に設ける燃料油を含むタンクの測深管上端に小口径の自動閉鎖制御コックが備え付けられていない

Port State

Country: China

Port: All ports

Action taken by PSC:

Detention / Rectify before Departure / Other

Description:

中国での PSC 検査において、機関室に設ける燃料油を含むタンクの測深管上端に対して、小口径の自動閉鎖制御コックが備え付けられていない事を指摘される事例が頻繁に報告されております。

SOLAS 条約では機関区域に設ける燃料油タンク測深管の上端に小口径の自動閉鎖制御コックを備えることが要求されています。同条約において燃料油タンクの具体的な定義は明記されておりませんが、中国の PSC 検査では燃料油を含むビルジタンクの測深管上端に対して自己閉鎖制御コックの取り付けが要求される可能性があります。

かかる状況に鑑みまして、中国に入港する貴社管理船におかれましては、以下の機関室内タンク測深管の上端に小口径自動閉鎖制御コックの取り付けをご検討頂くようお願い致します。

例)

- ・ 燃料油を含むビルジタンク
- ・ 燃料油スラッジタンク
- ・ 燃料油を含むドレンタンク
- ・ 燃料油ドレンタンク
- ・ 燃料油オーバーフロータンク



自己閉鎖制御コックの例